資料１

一般社団法人 ACC
〒105-0003 港区西新橋 2-4-2 西新橋安田ﾕﾆｵﾝﾋﾞﾙ 6F TEL 03-3500-3261

「2019 59th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」
各部門 審査委員長紹介およびメッセージ

■フィルム部門　多田 琢 氏　　※新任

TUGBOAT
クリエイティブディレクター・CM プランナー

【受賞歴】
クリエイター・オブ・ザ・イヤー、TCC グランプリ、ADC 賞、ADC 会員賞、
ACC グランプリ、ONE SHOW Gold　など

【主な仕事】
ペプシ「桃太郎」、TOYOTA「ハリアー　H.H.」ダイワハウス「ここで、一緒に」、
サッポロ黒ラベル「大人エレベーター」、宝くじロト「ロトもだち」シリーズ
などの CM。
『新しい地図』のブランディング。
映画「SURVIVE STYLE 5 」の原案・脚本、「クソ野郎と美しき世界」の原案を担当。

【プロフィール】
1963 年 9 月 20 日生まれ。
87 年早稲田大学第一文学部卒。同年（株）電通入社。
99 年クリエイティブ・エージェンシー「TUGBOAT」を設立。
ADC 会員

【メッセージ】

世の中全員が発信者になれる時代ゆえに、
その声に怯え、なかなか自由に伸び伸びと表現できない。
時代のせいにするのは簡単だが、
むしろこの時代を逆手に取ろう。
君たちの「僕らの時代」のために。
令和元年の ACC。
フィルム部門の審査は、
五七五という限られた文字の中に宇宙を作り出すように、
条件や制約の中だからこそ生まれる
研ぎ澄まされた広告映像表現の技術を評価したい。
人の「感情」を揺さぶるような「企画力」にフォーカスしたい。

新しく若々しい作品が多く集まることを期待して、お待ちしています。

一般社団法人 ACC
〒105-0003 港区西新橋 2-4-2 西新橋安田ﾕﾆｵﾝﾋﾞﾙ 6F TEL 03-3500-3261

■ラジオ＆オーディオ広告部門　嶋 浩一郎 氏　　※部門名変更

博報堂 執行役員
博報堂ケトル 代表取締役社長　クリエイティブディレクター

【主な仕事】
資生堂企業広告・Ｊ－WAVE 企業広告・三越伊勢丹企業広告・本屋Ｂ＆Ｂなどの経営・本屋大賞の運営・ラジオ番組「渋谷慶一郎と嶋浩一郎のラジオ第二外国語」（ラジオ日経）・雑誌「ケトル」など　著作「ブランドメディアの作り方」・「なぜ本屋に行くとアイデアが生まれるのか」など多数

【プロフィール】
93 年博報堂入社。コーポレートコミュニケーション局で企業の情報戦略にたずさわる。01 年朝日新聞社に出向。スターバックスコーヒー等で発売された「SEVEN」編集ディレクター。02－04 年博報堂刊「広告」編集長。04 年本屋大賞設立に参画。現在もＮＰＯ本屋大賞実行委員会理事として「本屋大賞」の運営を行う。06 年博報堂ケトル設立。統合キャンペーンを多数手がけると同時に、雑誌「ケトル」編集長などコンテンツビジネスも展開。12 年ブックコーディネータ内沼晋太郎と下北沢に本屋Ｂ＆Ｂを開業。

【メッセージ】

ラジオ CM の特徴は聴覚だけでコミュニケーションを成り立たせているところです。
それは弱点のようにも聞こえますが、大きな長所です。
ひとつの感覚しか使わないので、想像力がどこまでも広がるメディアです。
CM の作り手の力量によってリスナーをどこまでもつれていくことができるのです。
また、ひとつの感覚しか奪わないので「ながら」ができるメディアです。
CM の作り手の力量によって生活のあらゆるシーンに忍び込むことができるのです。
そんな、素のメディアであるラジオの新しい可能性を是非見たいと思います。

また、今年からあらたなカテゴリーを設けます。
デジタル化・IoT 化によって、音声コンテンツをベースにした企業のサービスも様々生まれています。
体験型イベントなどでも音声コンテンツは注目されています。
あらたにラジオ CM 以外の音声広告も広く募集し、評価していきたいと思います。
どんな作品が集まるか楽しみにしています。

一般社団法人 ACC
〒105-0003 港区西新橋 2-4-2 西新橋安田ﾕﾆｵﾝﾋﾞﾙ 6F TEL 03-3500-3261

■マーケティング・エフェクティブネス部門　小和田 みどり 氏

ライオン
コミュニケーションデザイン部 部長

【プロフィール】
ライオン株式会社入社
販売店営業担当（西友・イトーヨーカドーなど）
商品開発（ヘアケア・ヘアメイク担当）
宣伝部（新聞・雑誌・TV スポット担当）
2008 年 10 月 パーソナルケアを開発・販売する子会社
「株式会社イシュア」を立上げ代表取締役就任
2015 年 1 月 ライオン株式会社 宣伝部長
2017 年 10 月コミュニケーションデザイン部に名称変更

【メッセージ】

情報過多や接触メディアの多様化により広告が効かないといわれています。しかし、私たちが審査を務める ME 部門には昨年も「マーケティング戦略×クリエイティビティ」で成果をあげた施策がたくさんありました。規模の大きさではありません。
また昨年から最終審査が公開審査になりました。担当者の熱い想い、苦労した事、自分たちが心動かされた事などプレゼンテーションを通じて書面では見えなかったところまでよりリアルに伝わってきました。そしてまだまだ広告を含むコミュニケーションには人を動かすパワーがあると再確認しました。さぁ、今年はどんなアイデアでわれわれ審査委員が悩まされるのか。今から楽しみです。

一般社団法人 ACC
〒105-0003 港区西新橋 2-4-2 西新橋安田ﾕﾆｵﾝﾋﾞﾙ 6F TEL 03-3500-3261

■ブランデッド・コミュニケーション部門　菅野 薫 氏

電通／Dentsu Lab Tokyo
エグゼクティブ・クリエーティブ・ディレクター

【主な作品・仕事】
本田技研工業インターナビ「Sound of Honda /Ayrton Senna1989」、Apple Appstore の 2013 年ベストアプリ「RoadMovies」、東京 2020 招致最終プレゼン「太田雄貴 Fencing Visualized」、国立競技場 56 年の歴史の最後の 15 分間企画演出、GINZA SIX のオープニング CM「メインストリート編」、サントリー山崎蒸溜所「YAMAZAKI MOMENTS」、NTT ドコモ「FUTURE-EXPERIMENT.JP」、Björk や Brian Eno や Perfume との音楽プロジェクト等々活動は多岐に渡る。

【受賞歴】
ACC グランプリ・総務大臣賞（2014 年、2015 年、2017 年、2018 年）/ JAAA クリエイター･オブ･ザ･イヤー（2014 年、2016 年）/カンヌライオンズ チタニウム部門グランプリ / D&AD　Black Pencil（最高賞）/ One Show -Automobile Advertising of the Year- / London International Awards グランプリ / Spikes Asia グランプリ/ ADFEST グランプリ /東京インタラクティブ・アド・アワード グランプリ / Yahoo! internet creative award グランプリ/ 文化庁メディア芸術祭 大賞 / Prix Ars Electronica 栄誉賞 / STARTS PRIZE 栄誉賞 / グッドデザイン金賞など、国内外の広告、デザイン、アート様々な領域で受賞多数。

【プロフィール】
2002 年電通入社。データ解析技術の研究開発業務、国内外のクライアントの商品サービス開発、広告キャンペーン企画制作など、テクノロジーと表現を専門に幅広い業務に従事。

【メッセージ】

昨年、審査委員長を拝命したのを期に、形式や枠組みを超えたあらゆる新しい「ブランデッド」なアイディアを発見することを目的に、「ブランデッド・コミュニケーション」部門を新設しました。結果、前年比 2.5 倍近い 462 本の応募があり、これまでの日本の広告賞では褒められることのなかったアイディアのいくつかを発見して評価することが出来たのではないかと思っています。
当然、全ては拾いきれませんでしたし、新しい試みだっただけに応募要項や審査のプロセスに関して、まだまだ検討の余地がありました。しかし、常に賞の枠組みよりアイディアが先行していることの方が健全と考えています。昨年以上に多くの視点で、良い仕事を発見出来るよう、昨年の経験を生かして少しずつ進化していきたいと思っています。
この賞で、新しい才能が発見されたり、日々の工夫や努力が取り上げられることで、少しでも業界全体の意識や、技術向上、領域の拡張に貢献できればと思っております。
どれだけ可能性が発見出来るかは、予想を超えた応募がたくさんなされるか次第です。そして、何より審査委員のアイディアを発見する能力次第です。だから、めちゃくちゃ審査は大変なんですが、それでも数多くの応募をお待ちしております。

一般社団法人 ACC
〒105-0003 港区西新橋 2-4-2 西新橋安田ﾕﾆｵﾝﾋﾞﾙ 6F TEL 03-3500-3261

■メディアクリエイティブ部門　箭内 道彦 氏　　※新任

クリエイティブディレクター
東京藝術大学学長特別補佐・美術学部デザイン科教授

【プロフィール】
1964 年福島県郡山市生まれ。東京藝術大学美術学部デザイン科卒業後、博報堂を経て、2003 年独立。風とロックを設立する。
タワーレコード「NO MUSIC, NO LIFE.」、リクルート「ゼクシィ」、サントリー「ほろよい」、東京メトロなど、既存の枠に捉われない数々の話題の広告キャンペーンを長く手掛ける。
2008 年から 3 年間 MC を務めた NHK「トップランナー」を始め、NHK E テレ「福島をずっと見ている TV」、TOKYO FM／JFN「風とロック」、ラジオ福島「風とロック CARAVAN 福島」等、各番組のレギュラーパーソナリティーとしても活動。創刊 100 号を数えるフリーペーパー「月刊 風とロック」の発行人・編集長でもあり、2011 年の紅白歌合戦に出場したロックバンド「猪苗代湖ズ」のギタリストでもある。
2015 年、福島県の情報発信を統括する「福島県クリエイティブディレクター」に着任。2016 年にはコミュニティ FM「渋谷のラジオ」（FM87.6MHz）を開局、理事長を務めている。
風とロック芋煮会実行委員長、福島県しゃくなげ大使、郡山市フロンティア大使、郡山市音楽文化アドバイザー、東京コピーライターズクラブ副会長、東京 2020 オリンピック・パラリンピック 文化プログラム NIPPON フェスティバル テーマ「東北復興」クリエイティブディレクター。

【メッセージ】

世界を平和に、幸せにする、新しいアイデアを。

みんなが笑顔に、元気になる、素敵なクリエイティブを。

違う互いを、思いやり合える、強く優しいメディアを。

よろしくお願いします。

一般社団法人 ACC
〒105-0003 港区西新橋 2-4-2 西新橋安田ﾕﾆｵﾝﾋﾞﾙ 6F TEL 03-3500-3261

■クリエイティブイノベーション部門　暦本 純一 氏

東京大学 教授
ソニーコンピュータサイエンス研究所 副所長

【受賞歴／審査委員歴／主な作品・仕事】
・グッドデザイン賞（2004, 2009, 2012 ベスト 100, 2016)受賞
・日本文化デザイン賞(2003)、iF Communication Design Award (2005) 受賞
・グッドデザイン賞審査委員(2011-2015)、国際学会議長(ACM UIST, Ubicomp 等)
・研究成果：NaviCam, SmartSkin, Squama, JackIn, SottoVoce

【プロフィール】
東京大学情報学環教授・ソニーコンピュータサイエンス研究所副所長。
世界初のモバイル AR(拡張現実)システムを 90 年代に試作、マルチタッチの基礎研究を世界に先駆けて行うなど常に時代を先導する研究活動を展開している。現在は人間拡張（ヒューマンオーグメンテーション）, 人間と AI の融合ためのテクノロジーを追求。
日本文化デザイン賞、ACM SIGCHI Academy などを受賞多数。

【メッセージ】

未来を創るイノベーションを、ACC から世界へ

「ビッグアイデア×テクノロジー」で産み出されたプロダクト＆サービスと、プロトタイプを評価するクリエイティブイノベーション部門。
テクノロジーあり、アイデアあり、エンタテインメントもありという幅広い作品が揃うこの部門では、現時点でのビジネスの大きさよりも、未来を創り出す、世の中を動かす挑戦を評価します。
そのアイデアが終着点ではなく、使い方の応用の輪が広がっていく、相乗効果がイメージできることが「イノベーション」です。そんな、未来に種を撒くイノベーティブな作品をこの部門から発信していきたいと考えています。テクノロジーでイノベーションを起こそうとしているスタートアップ、または研究機関からの挑戦も待っています。